

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
1・図書館の基本的なサービス	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> サービス計画に沿った蔵書構成グループを見直す。 図書、雑誌、AV、電子書籍、DBの選定をする。 展示を行う（本館：一般、児童展示各6回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各12回以上） 電子書籍の収集方針を改正する。
	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 貸出・閲覧サービス・レファレンスサービスを継続実施する。 参考資料、新聞等の閲覧サービスを継続実施する。
	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 広報なりに、図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。 電子書籍の利用促進のPRを行う。
2・(1) 乳幼児・保護者	おはなしかい	今後も実施を継続します。回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	継続実施（おはなしかい） 先進図書館の調査を行う。 成功事例の調査研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> おはなしかいを継続実施する。 先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。
	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。配布場所については追加を検討します。	継続実施	ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き-2、3歳-」「絵本が大好き-4、5歳-」の配布を継続実施する。
	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	実施準備	事業概要や概算見積もりと共にローリングに計上する。
	ブックスタート事業	赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施 運営主体や方法について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん相談絵本読み聞かせを継続実施する。 他自治体での類似の事業について、現在の運営方法を調査し、報告書をまとめる。
	セカンドブック	実施に向けて検討します。	運営主体や方法について検討する。 先進国図書館の調査、関係機関との調整を行い実施を検討する (R3)	前年度に引き続き、先進図書館の事業の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	先進図書館の調査を行う。	先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。
	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	先進図書館の調査を行う。	先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
2・(1) 乳幼児・保護者	子育て支援コーナー等の設置	国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	(2年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査研究を行う。庁内関係各課、外部の関連機関の情報について調査を行う。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。
	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施 運用規定の課題を整理する。	・団体貸出を継続実施する。 ・現在の運用規定について課題を整理し、12月までに報告書をまとめる。
	幼稚園、保育園等への団体貸出	今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	(2年間計画/1年目) 市内の園等での読書活動の実態調査を行う。	7月末までにアンケート素案を作る。9月中旬までに起案し、年度末までにアンケートを完成させる。
2・(2) 小学生・中学生	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	・ブックリスト「ばんざいいちねんせい2022」「いいほんみつけた1,2ねんせい2022」「いいほんみつけた3,4年生2022」「いいほんみつけた5,6年生2022」「いいほんみつけた中学生2022」の配布を継続実施する。
	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	「いい本みつけた！中学生」書架(じどうYA)について、利用状況を調査する。	・「いい本みつけた！中学生」書架(じどうYA)について、毎月末に統計を抽出して利用状況の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	・2か月に一度の常設展示と、季節や行事に応じた展示を継続実施する。 ・各展示の利用状況について、展示入替時に統計を抽出して調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	おはなしかい	今後も実施を継続します。 子どもたちの参加意欲促進に努めます。	継続実施	・土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を継続実施する。
	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	・科学あそび講座等の児童向け講座を継続実施する。
	イベント、講座	中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向け講座の事例研究を行う。	・他自治体図書館における中学生向け講座について、調査を行う。 ・来年度の実施検討段階に向けて、3月末までに調査結果をまとめる。
	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの研修(読み聞かせ・素話)を実施する。	・学校の依頼を受けて訪問おはなし会を継続実施する。 ・事業を行う職員及びボランティアのスキルアップのため、研修を実施する。
	学校訪問おはなし会	回数や実施方法について検討します。	ボランティアが主体となるような実施方法を検討する。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
2・(2)小学生・中学生	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	・読み聞かせを行っている市民を対象とした「絵本の読み聞かせ講座」を継続実施し、ボランティアの養成を行う。
	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 町探検（小学2年生）に合わせた図書館紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。 非来館でも図書館についてPRする方法について調査する。	・町探検の受入れを継続実施する。 ・町探検（小学2年生）における配布資料「なりたしりつとしょかngoあんない」について、写真を掲載する等、内容を改訂する。 ・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。
	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 職場体験（小学校6年生・中学2年生）に合わせた図書館・司書業務紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。	・職場体験の受入れを継続実施する。 ・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。
	読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	マルチメディアDAISYや布絵本の所蔵、提供等について、事例調査及び研究を行う。	障がい者サービス担当の前年度の調査結果等を確認し、未調査の事項について調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	視察先を選定する。	・先進事例について調査を行い、10月末までに視察先を選定する。
	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・団体貸出を継続実施する。
	学校図書館の支援	団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	学校図書館との団体貸出等図書館資料の配送体制整備について先行事例を研究する。	・先進図書館の調査を行い、12月までに中間報告を行う。
	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	・学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を継続実施する。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
2・(3) 青少年	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	YAサービスの計画を立案する。	・12月までにYAサービスの計画を立案する。
	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	YAサービスの計画を立案する。 書棚の構成バランスや、資料の選定基準について方針を定める。	・12月までにYAサービスの計画を立案する。 ・書棚の構成バランスについて、先進的な図書館を対象に調査を行い、12月までに中間報告を行う。 ・資料の選定基準について、7月までに暫定版を作成し、試用する。
	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	YAサービスの計画を立案する。	・12月までにYAサービスの計画を立案する。
	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	ヤングアダルト向けのイベントについて事例の調査研究を行う。	・国内他館の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	(2年間計画/2年目) 事例の調査研究を行う。	・国内他館の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
2・(4) 成人	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。 視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載
	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。 レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載
	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載
2・(5) 高齢者	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施 大活字本及び朗読CDの収集方針を立てる。	・大活字本、朗読CD等を継続して収集する。 ・昨年のアンケートを基に、同規模で大活字本や朗読CDを収集している図書館に調査を行い、前年度の調査と合わせて12月までに報告書をまとめる。
	資料の収集、提供	電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	オーディオブックコンテンツの事例の調査研究を行う。	・公共図書館向けのオーディオブックサービスを提供している業者を調査し、12月までに報告書をまとめる。 実施計画のローリングに計上する。
	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	市内施設へのニーズ調査を実施し、検証した報告書をまとめる。	・「高齢者施設等との連携調査」の調査を実施し、2023 (R5) 年度に行う高齢者施設等へのニーズ調査に関するアンケートの素案を作成する。
	高齢者施設等との連携	連携方法について調査研究を行います。	高齢者施設と連携を行っている図書館の連携方法について、事例を調査する。 (R4)	・高齢者施設と連携している図書館へ事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。 ・アンケートの素案を作成する。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
2・(5) 高齢者	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	他市町村におけるサービス事例調査研究を行う。	・県内の図書館へサービスの詳細を調査する。また、県外の先進的な事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。
	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	事例調査及び研究を行う。協力を得られる機関を調査する。	・前年度の調査に加え、生涯大学等と連携している図書館の事例調査を行い、当館で実施可能なサービスを検討し、12月までに報告書をまとめる。
	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	出張図書館等の連携事業を検討します。	他市町村におけるニーズ調査を行う。	・事例及びサービスの利用状況を調査し、12月までに報告書をまとめる。
	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	高齢者向けのミニ展示を行う。	・認知症や定年後の生活等をテーマにしたミニ展示を年に4回実施する。
2・(6) 図書館利用に障がいのある人	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施 職員の負担軽減、作成マネジメントの見直しを図る。	・録音図書の製作を継続実施する。 ・9月までに、昨年度の作成マネジメントの効果を分析し、新規録音図書作成マネジメントの見直しを行い、12月までに報告書をまとめる。
	録音図書の製作	所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施 次年度以降の計画書を作成する。	・カセット資料のDAISY図書への変換作業を継続実施する。 ・9月までに、カセット資料のDAISY化の見直しを行い、計画書を作成する。
	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	収集方針、収集・提供方法について案を作成する。	・12月までに、マルチメディアDAISY収集の方法について調査し、報告書をまとめる。 ・マルチメディアDAISYの収集・提供について計画を作成する。
	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 (3年間計画/1年目) 新規音訳協力者養成講座を企画・立案・実施する。	・音訳者養成講座を継続実施する。 ・1月までに、今後の障がい者サービスの方向性を含め、既存の講座を見直し、新規音訳協力者養成講座の実施計画(令和6年度から2年間)を作成する。 ・音訳協力者のレベルアップのための講座を5回実施する。
	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	(2年間計画/1年目) 点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を立案する。オーディオブックコンテンツの再調査をする。各高齢者担当と協議し方針を定める。	・昨年度に引き続き、高齢者担当、児童担当と協議し、点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を調査し、12月までに報告書をまとめる。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
図書館利用に障がいのある人	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	継続実施 サービス対象者の見直しをする。	・配送貸出サービスを継続実施する。 ・調査結果をもとに心身障害者用ゆうメールについて調査を行い、導入を検討し2023 (R5) の導入を目指す。
	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	事例調査及び研究を行う。	他館のサインのバリアフリー化の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	対象者への利用案内の送付を継続実施する。
	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	事例調査及び研究を行う。	他館の施設・設備のバリアフリー化の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
	合理的配慮の提供の推進	館内のサイン・案内等の改善を図ります。	事例調査及び研究を行う。	館内のサインの改善案について報告書をまとめ、年度内に館内サインの変更を行う。
2・(7) 多文化	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	・継続実施 ・丸善ベストセラー等、現在の購入先以外の収集手段について調査し、購入する。	・多言語資料を継続して収集する。 ・昨年度に引き続き、多言語資料の収集手段について調査し、購入手段を決定する。
	多言語資料の収集	ニーズに沿った選定の方法を検討します。	利用状況について調査継続すると共に、多言語資料のMARCについて研究する。	・多言語資料MARCについて調査し、MARCの自館作成または受入方法について、12月までに報告書をまとめる。
	多言語資料の収集	電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	多言語資料の提供・選書基準について、検討する。	電子書籍での多言語資料の選書基準を定める。
	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・多文化理解に役立つ資料を継続して収集する。
	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・日本語学習、検定資料を継続して収集する。
	日本語学習、検定資料の収集、提供	選定方法を見直し、購入手法を検討します。	日本語学習、検定資料の選定・受入方法の見直しを行う。	・資料の利用状況について継続調査し、12月までに取りまとめ、見直しに沿った選定・受入方法を実施する。
	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	案内が必要な言語について調査する。他機関での事例を調査する。	・中国語の利用案内を作成する。 ・他館の事例等について継続調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
利用しやすい環境の整備	やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。	(2年間計画/2年目) やさしい日本語の利用案内について、先事例や必要性を研究する。	・昨年度に引き続き、やさしい日本語の利用案内について調査し、12月までに報告書をまとめる。	

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
3・(1) 健康・医療情報	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	(2年間計画/1年目) 収集方針の改訂あるいは、選書方法の見直しを行う。	・収集方針の改訂案を作成し、資料部会で検討する。 ・選書方法の検討のため、複数の医療系出版社から出版リストを取寄せて、グループ内で回覧する。
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。	サービスガイドラインを策定する。	サービスガイドラインを12月までに策定する。
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	(3年間計画/2年目) 事例調査や視察を通して研究する。	・先進事例館から収集方針や整備方針を集め、12月までに報告書をまとめる。 ・昨年調査した先進事例9館のうち、1館以上視察の実施をする。
	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	継続実施	健康・医療情報の講座を開催する。
3・(2) ビジネス支援	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	(2年間計画/2年目) 蔵書研究、調査を行う。	・ビジネス支援サービス研修に参加する。 ・昨年度の研究資料をもとに、ビジネス書の選書基準、除籍基準を見直し、修正案について、12月までに報告書をまとめる。
	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	実施計画に載せる。	・職員のデータベース研修の計画をたてる。 ・新規のデータベース導入について検討し、必要に応じローリングに計上する。再調査が必要であれば、12月に報告書をまとめ、来年度のローリングに計上する。
	データベースの整備	ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	(2年間計画/1年目) PRチラシなど、どのような形式が適切か事例調査及び研究を行う。	・当館の資料、パンフレット等を掌握し、リスト化する。 ・他館調査(前年度分)の資料より具体案を企画し、サンプル(具体案)を作成する。
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	(3年間計画/2年目) コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。	・昨年度調査した先進図書館の事例をもとに、コーナーづくりのシミュレーションをおこない、具体案をまとめる。 ・パスファインダーについて、当館資料をリスト化し、追加するパスファインダーを検討する。
	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	(今年度は別分野の講座を実施予定)

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
3・(2) ビジネス支援	相談会の実施 (会場・資料提供)	事例調査及び研究を行います。	(4年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・調査を継続し、12月までに中間報告を行う。
	相談会の実施 (会場・資料提供)	中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	(4年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・調査を継続し、12月までに中間報告を行う。
3・(3) 法情報	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	(3年間計画/2年目) 資料の収集対象や選書方法についてリーフレットなどの配置も含めて検討し、資料の見直しを行い、報告書をまとめる。	・法情報の資料について、リーフレット等の資料も含め、選書基準、除籍基準を見直し、修正案について、12月までに報告書をまとめる。
	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	(3年間計画/2年目) 事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。	・事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。
	講座、セミナーの開催	ニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う。	・昨年度アンケートにておこなったニーズ調査結果をもとに、調査を継続する。
	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	継続実施	・法情報の講座を開催する。
	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う (継続調査)。	・法情報講座にて、アンケートによるニーズ調査を行い、12月に中間報告を行う。
4・(1) 地域資料	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施 資料の収集を継続する。行政資料の網羅的な収集を行う仕組みを検討する。	・継続して資料収集を行う。 ・網羅的な資料収集の方法等について先進事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。
	地域資料の収集、提供	今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	・電子化されている資料を含め、航空関係資料を継続して収集する。
	地域資料の収集、提供	行政資料の収集を継続します。	継続実施	・担当課との昨年度の協働実績を踏まえ、行政資料を継続して収集する。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
4 ・ (1) 地域資料	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施 成田市関係新聞記事データベース公開作業の遡及入力を継続する。	・成田市関係新聞記事のデータベース化を継続し、公開する。 ・成田市関係新聞記事データベース過去の未入力分を全て完了させる。また、最新の市史研究46号に掲載されたデータを入力し公開する。
	地域資料のデジタル化	地域資料のデジタル化を進めます。	図書館システム導入に合わせて実施計画のローリング計上及び予算要求をする。	・ローリング計上及び予算要求と併せ、デジタル化に向けて課題を整理し、12月までに報告書をまとめる。
	地域資料のデジタル化	デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化資料公開に向けた計画表を作成する。	・デジタル化資料公開に向けて課題を整理し、12月までに計画表を作成する。
	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	・地域に関連した講座を実施する。
	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施 年度当初に計画票を作成し、計画的に実施する。	・展示を継続実施する。 ・計画に沿って、展示の更新をする。 ・7月までに、展示の計画書を作成し、12月までに報告書をまとめる。
	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。今後の方向性を検討します。	(3年間計画/1年目) 市史編さん事業の今後の在り方を検討する。	・他市町村の市史編さん事業の状況について、調査をする。 ・成田市史研究47号を発行する。
5 ・ (1) 行政支援	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	・新規採用職員研修を継続実施する。 ・令和4年度成田市役所新規採用職員研修における図書館活用法案内の実施結果をまとめ、令和5年度の研修に向けて計画書を年度内に作成する。
	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	行政向けレファレンスサービスの、周知方法について検討し、報告する。	・過去に実施した周知方法を整理し、他自治体の事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。
	行政向けレファレンスサービス	有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	「市職員への利用案内」と連動し、図書館活用法案内に、有料データベース等のツールやレファレンス事例の紹介を盛り込むことを検討する。	・令和5年度の研修に向けた計画書に有料データベース等のツールやレファレンス事例について盛り込む。
	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	物流の手段を、担当課と協議する。	・図書館システムの仕様書を作成する際に担当課と協議する。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
5・(3) 議会図書室との連携	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	新議員の改選に伴う利用案内を検討する。	・新議員の利用案内について担当課と協議し方法を決定する。 ・利用促進のためのPR方法を検討し、担当課と協議する。
	議員へのレファレンスサービスの実施	議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	物流の手順を担当課と協議する。	・文献等の資料の送付について担当課と協議をおこなう。
	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	(3年間計画/2年目) 担当課と協議して議会図書室整理について方向性を検討する。	・議会図書室内の整理について、議会と協議を開始する。 ・議会事務局や議員の意向等を聴取し、整理方法について計画を立てる。
	資料の整理・保存等の支援	議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	(3年間計画/2年目) デジタル化について担当課と今後のスケジュールについて協議を継続する。	・過去の議事録のデジタル化について、その方法や予算化について協議をおこなう。
5・(4) 行政資料室との連携	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。担当課と今後の方針や課題について協議する。	・引き続き事例研究を継続する。 ・担当課と行政資料室の廃棄資料リストを確認し、歴史的資料などを拾い上げる。行政資料室の課題点について検討する。
	行政資料室での行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。		※5. (1) 行政支援の項目に掲載
6・電算システム	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	(図書館システム) システムの機能向上について検討します。ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	予算要求 業者選定	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	(ホームページ) システムの機能向上について検討します。ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	ホームページ更新計画策定	・ホームページの更新計画を、12月までに策定する。
	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	収集方針の改定	・収集方針を12月までに改定する。
	新たな技術の導入	本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
	業務の効率化	本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。

図書館サービス計画の令和4年度計画

資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	2022 (R4) 達成基準
7 ・ 職 員 の 育 成	継続的な司書の確保と計画的な配置	継続的な司書の確保に努めます。司書の研修マニュアルを作成します。専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続的な司書の確保に努める。 司書の研修マニュアルを作成する。 専門分野の習熟に必要な配置機関を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。 ・司書研修マニュアルを作成する。 ・専門分野の習熟に必要な配置期間を確保する。
	職員の資質・能力の向上	長期的な研修計画を立てて、計画的な職員育成を図る。	計画的な職員育成を図る。	担当となった分野の研修に参加する。
8 設 ・ 備 施 等 設 ・	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。 ・発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。
	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。	危機管理マニュアルを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・台風災害時の臨時休館対応マニュアルを策定する。